

好きやねん大阪

大阪から日本を変えるため「大阪大変革」(チェンジ)が必要です！

それには、上から目線を脱却し、混乱した維新の時代から卒業することが必要です。

大阪は縁の下のサポートで支えられ、発展していきます！
府民が主役です。
地域が主役です。

A L L 大阪でチェンジ！！ ～「元気・安心・連携」の調和～

関西の大阪、
日本の大阪から、
アジアの大阪へテイクオフ！

倉 田 薫
くらた かおる

2011大阪府知事選の政策テーマ

連絡先

市町村長連合と府民の会

大阪市北区野崎町6-7 大阪北野ビル1F

06(6316)1780 FAX 06(6316)3031

～こゝろ～

今のような対立やいがみ合いの政治では、何も解決できません。
何も生まれません。

このままの大阪で、元気と活力のあるまちと思いませんか？！
このままの大阪で、安心して暮らせる府民目線の行政だと思いませんか？！
このままの大阪で、府・市町村に連携や話合いがあると思いませんか？！

今、大阪が変わらなければ、何も始まりません！
コップの中の争いをしている場合ではありません！

今こそ、破壊から創造です！対立から調和です！
今こそ、強権的に進むスクラップ行政から、「元気・安心・連携」の
調和のとれたビルド行政へ、チェンジです！

大阪人の大阪人による大阪人のための大阪府を目指す、
好きやねん大阪、倉田 薫が頑張ります！！

1. 大阪の活性化

厳しい雇用の改善には大阪産業が元気になることが一番。府域全体に広がる大阪産業の様々な“強み”を活かします。さらに府・市町村、官民が一体となって磨きをかけていきます。そして、大阪の雇用を拡大させます。

一方で、過度な競争を煽るだけではなく、何回でもチャレンジが可能な環境を整えるなどセーフティネットの確保にも努めます。

2. 東京とならぶツインエンジン

大阪が元気になるにはもう一度ヒト・モノ・カネ・情報を集めることが大切。府・市町村、経済界などが一体となって、既存のストックを活かしながら大阪の都市基盤整備に努めます。

また、東京への行政・経済などの各種機能の集中を是正し、いざという時には、大阪が首都機能のバックアップを果たせる都市づくりを進めます。

3. 新しい教育改革を推進

上から目線の条例で縛りつけるのではなく、個性や能力が多様な子どもたちがそれぞれ伸びるように、保護者、地域、学校、教育委員会が参画し、地域、学校に応じた教育を行う参加型への教育改革を進めます。

また、教育人事権の市町村への権限移譲により地域性あふれる教育を実現するとともに、小中・中高連携といった学校間を超えた教育モデルの構築により、子どもの将来を豊かにします。

4. 大阪版子ども・子育てモデル構築

子育て施策は住民に身近な市町村が主役。市町村の特色ある取り組みをしっかりサポートします。

また、幼児教育と保育のそれぞれのメリットを活かした先進的な子育て事業を全国に先駆けて導入します。

一方、いざというときのセーフティネットの役割や広域調整を府が果たし、真に子どものためになる改革に取り組みます。

5. みんなにやさしい福祉を充実

誰もが安心して暮らせるために、福祉の最前線である市町村での現場経験を十分に活かした制度の見直しに着手します。

また、市町村・関西広域連合との連携や、国に対する制度改正を訴えかけてまいります。

大阪問題となりつつある国民健康保険、介護保険の運営、生活保護対策は市町村まかせにせず、府民が納得し安心して生活ができるように、安定運営をサポートします

6. 災害に強く安全・安心な大阪

地域の自助、共助、公助をベースに、危機管理能力を強化し、未曾有の災害にも的確に対応できる強い大阪を目指します。

また、安全で安心した暮らしを実現するため、防災・防犯対策を充実させるとともに、発災時にたすけあいの核となるコミュニティづくりを支援します。

7. 文化を重んじ観光でにぎわい創出

文化・芸術施策を再点検し、大阪にあふれる文化資源を最大限に活用します。

国内外から観光客を呼び込む観光ルートを、近隣府県と協力して構築します。

大阪のみどりを保全し良好な環境を守り育てていきます。

8. 大都市問題・自治新制度への挑戦

大阪にふさわしい大都市制度を、府・市町村が一緒になって協議を尽くし知恵を出し合うために「(仮称)ALLおおさか会議」を設置し、大阪版広域連合など様々な手法の検討に着手します。

法改正がなければ進まない構想にこだわらず、まずは自分たちで出来るところから改革を始めます。

地方自治のあり方について常に問題提起し、改革していきます。

9. 地方分権改革・広域連携の推進

大阪版地方分権推進制度や大阪発“地方分権改革”ビジョンの策定などこれまで府が取り組んできた良い部分は引き継ぎつつ、強権的なやり方を改めます。

府民にもっとも身近な市町村の活力を引き出し、効率的かつ効果的な行政の実現のため、市町村への権限移譲を進めます。

また、関西の元気が大阪の元気であり、関西広域連合の一員として、地方から国のかたちを変える地方分権改革をすすめます。

10. 行財政改革の推進

府民の信託にふさわしいスリムで強靱な行財政構造を実現します。特に、財政規律・透明性を確保し、将来世代に負担を先送りしないという原則を徹底します。

また、職員の意識改革をすすめ、「府民とともに考え、汗をかく府庁」を目標に、府民やNPO等と行政の協働を進めます。